

海と社に育まれる
楽しい



第6次塩竈市
長期総合計画

ダイジェスト版

2022→2031

SHIOGAMA



第6次塩竈市長期総合計画

第6次塩竈市長期総合計画は、令和4年度からの今後10年間のまちづくりの方向性を示すものです。目指す都市像に「海と社に育まれる楽しい塩竈」を掲げ、8つのまちづくりの目標の達成に向けた施策を展開します。

本計画の実現に向けては、まちづくりの主役であり担い手でもある市民や市民活動団体、地域経済を支える事業者のほか、本市に関わりのある方などと、行政が一体となる「協働・共創によるまちづくり」を推進します。



基本構想 令和4年度▶令和13年度

■まちづくりの基本理念

今ある個性を大切にし、
みんなでつなぎ合わせて、
新しい魅力を創り上げていく、
未来に続くまちづくり

■目指す都市像

海と社に育まれる
楽しい



■将来人口

50,000人

(令和13年末住民基本台帳人口)

まちづくりへの想い

塩竈らしい100の暮らし



第6次塩竈市長期総合計画の策定に向けて、これからの塩竈での暮らしを考える市民まちづくりワークショップを開催し、参加者のアイデアを「100の暮らし」にまとめました。

「100の暮らし」は、『楽しみながらこれからも塩竈で暮らしていきたい』という想いにあふれるものであり、今後のまちづくりの重要な要素であることから、基本構想や前期基本計画にその想いを取り入れています。

■まちづくりの目標

～未来に続く8つの塩竈物語～

分野1 子ども	子どもたちの 笑い声が あふれるまち	
分野2 福祉	みんなが 生き生き しているまち	
分野3 生活	快適に 住み続けられるまち	
分野4 産業	活気があり、誇りを もって働いている人が たくさんいるまち	
分野5 交流	何度でも訪れたいまち	
分野6 文化	日常に彩りがあるまち	
分野7 協働	みんなが 主役になれるまち	
分野8 浦戸諸島	自然と調和した 和やかな暮らしと 癒しがあるしま	

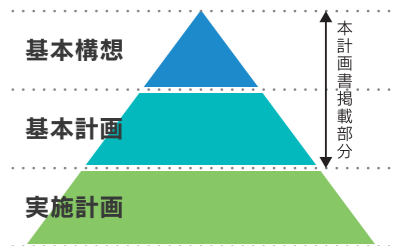
基本構想

社会情勢や地域特性、市民の声、本市が抱える課題などを踏まえ、これからの10年間で目指す都市像やまちづくりの基本理念、まちづくりの目標を定めるものです。

基本計画

基本構想で定める「まちづくりの目標」の達成に向けて、分野別の主要な施策を示すものです。計画期間を前期5年・後期5年に分割し策定します。

計画の構成



前期基本計画 令和4年度▶令和8年度

■まちづくりの方向性

8つの分野を横断的に取り組みます

■しおがま未来創生プロジェクト (第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略) 詳しい内容は最後のページに掲載しています。(第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略)



健やかに育つ・育てる環境づくり



健康で安心して暮らせる地域づくり



安全で安心なコンパクトさを生かした
住環境づくり



活気に満ちた産業づくり



観光交流による賑わいづくり



生涯にわたって学びあえる風土づくり



さまざまな個性がつながり、役割を
発揮できる環境づくり



人々が住まい・集える持続可能な島づくり



「塩竈らしい100の暮らし」からの
まちのイメージ

住んでいて心地良く、
誇りを持てるまち

子どもたちが生き生き
しているまち

地域特性を生かした
やりがいのあるまち

さまざまな人たちと
つながり、賑わいがあるまち

国の第2期まち・ひと・しごと創生
総合戦略の基本目標

1. 稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする
2. 地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる
3. 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
4. ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

■8つの塩竈物語とまちづくりの方向性・施策の柱

分野1
子ども

子どもたちの笑い声があふれるまち



一時期は子どもの数がどんどん少なくなっているって聞いていたけど、最近は少しずつ増えてきているのかな。産む前から大きくなるまで、ずっと子育てを応援してくれるまちだから、最近もまた、小さな子のいる家族が近所に引っ越して来たみたい。

学校では子どもたち同士での学び合いが広がっていて、明るくて元気な子どもたちが多くなったという話も聞こえてくる。日ごろから子どもとふれあう時間を大切にする家庭も増えてきて、元気にあいさつができる子や朝ごはんをちゃんと食べてくる子が多くなった。

地域の人も子どもと関わる機会が増えていて、自分の子どもや孫のように可愛がっているから、まちのあちこちで子どもたちの元気なあいさつや笑い声があふれるようになった。こういう環境が続くことで、ふるさとを大切に思う大人が増えていくんだろうなあ。

まちづくりの方向性

～健やかに育つ・育てる環境づくり～

施策の柱

- (1) 「妊娠」から「子育て」までの切れ目ない支援体制の構築
- (2) 未来を担う子どもを育むための学習環境の充実
- (3) 地域全体で子育てや教育を支える体制の充実

分野2
福祉

みんなが生き生きしているまち



長年勤めた会社を退職してしばらく経つけど、仕事をしている時より忙しくて楽しくなるなんて思いもしなかったな。健康にも気をつけるようになって、ご近所さんとのウォーキングは習慣になっているし、日頃の食生活では、塩竈の食材を取り入れたバランスの良い食事を心がけている。そして、サークル活動やボランティア活動、アルバイトに孫のお世話、毎日が充実している。活動を通じて新しい友達も増えたり、いろいろ頼りにされるのはとても嬉しい。仲間がいて、生きがいや役割があると、いつまでも元気でいられる気がする。

それにこのまちには、病院の先生や民生委員さん、保健師さん、地域包括支援センターの皆さんなど、頼りになる方々がたくさんいる。

年も年だから、不安や悩みが無いわけではないけど、地域全体で見守られている安心感があるので、このまちでずっと健康で、生き生き楽しく暮らしていきたいと思う。

まちづくりの方向性

～健康で安心して暮らせる地域づくり～

施策の柱

- (1) みんなが生きがいをもち安心して暮らせる支援体制の充実
- (2) 健康増進と健康寿命の延伸による元気の創出
- (3) 安心できる地域医療体制の充実

分野3
生活

快適に住み続けられるまち



塩竈って本当に住みやすいまちだと思う。豊かな自然が大切にされ、コンパクトでまちなかにはいろんな施設があるし、バリアフリー化も進んでいて、みんなが快適に過ごすことができる。電車とバスの乗り継ぎもスムーズで、住んでいる人だけでなく観光に来る友達を案内するのも便利。車を運転しなくなった父も不自由なく出かけられるし、事故や事件の話もあまり聞かなくなったから、みんなが安心して暮らせるまちになってきた。

東日本大震災の教訓から、町内の皆さんの防災意識はますます高まっているし、どんな災害があってもみんなで力を合わせて乗り越えていけるっていう安心感も芽生えてきた。

これからも、大好きな塩竈の風景を未来につなげていくために、自分にできることを進んでやっていこうと思う。

まちづくりの方向性

～安全で安心なコンパクトさを生かした住環境づくり～

施策の柱

- (1) 災害などに対する「強さ」と「しなやかさ」を持ち、安全・安心に生活できる都市環境づくり
- (2) コンパクトで生活サービスが充実した「住んでいたい・住んでみたいまち」の形成
- (3) 豊かな自然と調和した環境にやさしい循環型社会の形成

分野4
産業

活気があり、誇りをもって働いている人がたくさんいるまち



塩竈には、誇りをもって働いている人がたくさんいる。いろんな人たちがお互いに協力し合ったり競い合ったりして、まちにも活気があふれている。自慢の豊かな食文化にもますます磨きがかかって、「みやぎの台所」って自信を持って言えるまちになってきた。私もそんなまちを支える一人だって思うと、とても誇らしい。

最近、ベイエリアには、若い人たちが働きたくなる企業が進出しはじめていて、地元の人たちの働く場としてだけではなく、塩竈を巣立った子どもたちが戻ってくるきっかけにもなっている。

そして、まちのあちこちに個性的な新しいお店ができて、商店街には賑わいも増えてきた。うちの子どもの「いつかお父さんとお母さんのお店を継ぐんだ。」なんて言って、本当に頼もしくなってきた。

まちづくりの方向性

～活力に満ちた産業づくり～

施策の柱

- (1) 数多くの地域資源を生かした「みやぎの台所・しおがま」の創造
- (2) 商工業者の持続的な経営安定や事業承継・新規創業への支援の充実による地域活力の向上
- (3) 海とみなとを生かした活力づくりや新たな産業と若者も満足できる雇用の創出

■8つの塩竈物語とまちづくりの方向性・施策の柱

分野 5

交流

何度でも訪れたいまち



塩竈は、コンパクトだけど一日たっぷり過ごしても時間が足りなくなる不思議なまち。「塩竈を案内して」と言われると、見せたい場所がたくさんあっていつも迷ってしまう。鹽竈神社やベイエリア、仲卸市場に浦戸諸島、美味しいお寿司とお酒、それにスイーツまで……。魅力は観光スポットや食べ物だけじゃなく、心からのおもてなしもその一つ。自信を持って「またおいで！」って言えるまちだと思う。

いろいろなところで塩竈のことが取り上げられていて、訪れてみたいまちになっているのもうなずける。

この前遊びに来た県外の友達には、オリジナルの「食のスペシャルコース」を案内したら、「またぜひ来たい!」と、すごく満足して帰っていった。今度来たら、また別な塩竈を見せてあげようかな。

まちづくりの方向性

～観光交流による賑わいづくり～

施策の柱

- (1) 地域資源を最大限活用した観光メニューの創出
- (2) 塩竈ブランドの確立とおもてなし体制の充実・広域連携による交流人口の拡大

分野 6

文化

日常に彩りがあるまち



塩竈は絵になるまち。歴史ある建物やまち並みが、みんなの手で大切にされているし、きれいな海とたくさんの緑がある。

小学生の時、美術館で観た絵に感動して、絵が大好きになった。それから、塩竈の何気ない風景をたくさん描いている。このまちのいろんな一面を見て、あらためて塩竈はいつもの物語が重なり合って築かれたまちなんだと実感している。

この前、神社で絵を描いていたら、おじいさんから声をかけられ、今まで知らなかった塩竈の歴史を聞くことができた。絵を描くことを通じて、まちのことを深く知ることができ、人とのつながりが生まれるきっかけにもなっている。

最近では、芸術やスポーツなどいろんな分野で活躍する人たちも増えてきて、ますます誇らしいまちになったし、私もその文化を引き継いでいく一人になりたい。そしてそんな塩竈を未来につないでいきたい。

まちづくりの方向性

～生涯にわたって学びあえる風土づくり～

施策の柱

- (1) 豊かな歴史やこれまで培ってきた文化を未来へつなぐ取組の充実
- (2) 生活にうるおいを与える生涯学習・生涯スポーツの展開
- (3) 芸術・文化・スポーツなど、各分野で活躍できる人材の育成

分野 7

協働

みんなが主役になれるまち



最近では、まちづくりに関わる人が前よりも増えてきたように感じる。

休日に駅前の花壇に花を植えてくれる近所の人たちや外国人の方に日本語を教えているボランティアの人たち。まち歩き調査をする大学生や公園の清掃に取り組んでいる企業の人たち。

塩竈に住む人、働いている人、関わりのある人たちが、持っている力を発揮しながら手を取り合ってまちづくりを進めている。

文化や価値観の違いを尊重し合い、お互いが協力し合うことで魅力的なまちになっていく。だからこそ、一人一人がまちの主役で、「人」を大切にこのまちを、みんなでもっと良くしていきたい。

まちづくりの方向性

～さまざまな個性がつながり、役割を発揮できる環境づくり～

施策の柱

- (1) 塩竈の魅力向上に向けた市民活動への支援体制の充実
- (2) 大学や企業等との交流・連携・共創と多様化する社会への理解促進
- (3) 効果的・効率的で透明性の高い行政経営

分野 8

浦戸諸島

自然と調和した和やかな暮らしと癒しがあるしま



船の中や通路路では、相変わらず子どもたちの元気な声が響いている。最近では、島内での福祉サービスも充実してきて、お年寄りも安心して住み続けられる島になってきたと思う。

そして何よりも、「島じかん」なんて呼ばれるくらい、ゆったりと心穏やかに生活できるから、とても贅沢なことだと思っている。

そんな癒しを求めて、浦戸には色々な人が訪れる。仕事をする人、遊びに来る人、そして新しく住み始める人。たくさん人が来ると、浦戸らしさがなくなるようで不安に思ったこともあったけど、みんなが島の自然や生活を気に入って大切にしてくれているのがわかるから、来てもらうのが楽しみだし、ほっとしている。

浦戸でとれる海産物や農産物、つくられている加工品が好評で、新たな商品の開発に向けても、島全体で盛り上がっている。

そういえば、この前友達に浦戸でとれたものを送ったら、「こんな美味しいものありがとう!」って言ってすごく喜んでくれた。当たり前と思っていたものが、実は大きな魅力になっているなんて・・・そんな浦戸暮らしを誇らしく思っている。

まちづくりの方向性

～人々が住まい・集える持続可能な島づくり～

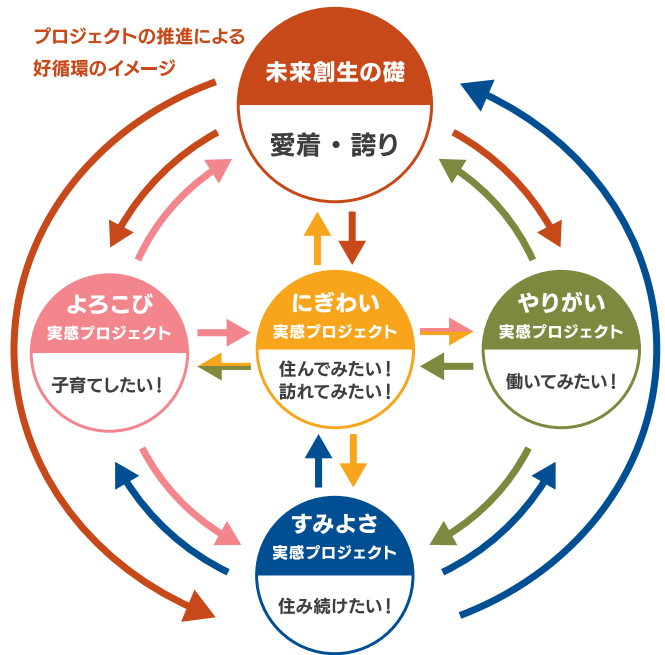
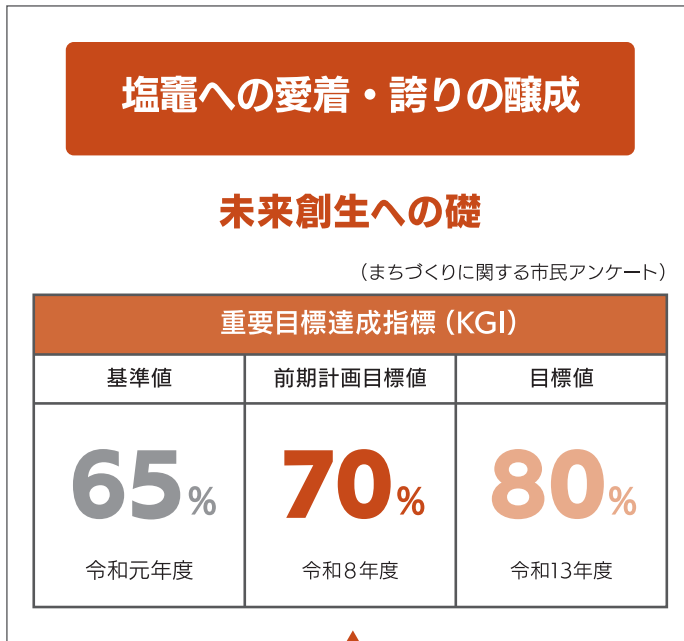
施策の柱

- (1) 健康で安心して住み続けられる生活環境の充実
- (2) 浦戸産品(海産物・農産物)の高付加価値化や担い手育成による産業の振興
- (3) 浦戸ならではの自然や歴史・文化を生かした交流の推進

■しおがま未来創生プロジェクト

「しおがま未来創生プロジェクト」は、『海と社に育まれる楽しい塩竈』の実現に向けた原動力となるものです。

市民が描いた「塩竈らしい100の暮らし」からのまちのイメージと国の「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標を組み合わせ、塩竈での楽しい暮らしにつながる『すみよさ』、『よろこび』、『やりがい』、『にぎわい』を市民に実感いただき、未来創生の礎である本市への『愛着と誇り』を醸成することを目指します。



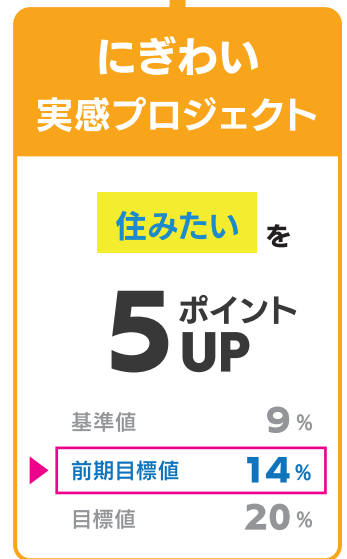
コンパクトシティの利便性や地域資源を最大限に生かした取組、医療や福祉サービスの充実などにより、安心して快適に暮らすことができる環境を整え、だれもが住み良さを実感できるまちを目指します。



切れ目のない子育て支援の充実や特色ある質の高い学校教育の推進などにより、子どもたちの健やかな成長を支え、子育て世帯が子どもを産み育てる喜びを実感できるまちを目指します。



多彩な「食」がつどう「みやぎの台所・しおがま」の特性を生かし、基幹産業である水産業や水産加工業のさらなる振興や魅力ある企業の誘致などにより、働く方々がやりがいを実感できるまちを目指します。



魅力ある個性を有機的につなぎ合わせた移住定住施策や交流人口拡大に向けた取組の推進により、塩竈への新しい人の流れを築くことで、市民をはじめとした多くの方々が賑わいを実感できるまちを目指します。

第6次塩竈市長期総合計画 ダイジェスト版

発行：塩竈市 令和4年(2022年)4月

編集：総務部政策課

〒985-8501 宮城県塩竈市旭町1番1号
 TEL : 022-355-5631 FAX : 022-367-3124
 URL : <https://www.city.shiogama.miyagi.jp/>
 Eメール : seisaku@city.shiogama.miyagi.jp

